

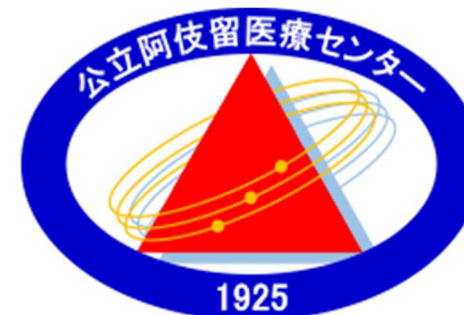
地域連携センターから

当院では、地域医療の窓口として、地域連携センターを設置し、入退院支援室、医療福祉相談室、地域連携課の3つの仕組みを持ち、「様々なニーズにあったスムーズな受診」と「より良い医療」をうけていただくためのシステムを構築しております。

8月から医師事務作業補助者が地域連携課に異動し、新たなメンバーとして加わりました。より地域に密接した「地域」と「医療」をつなぐ地域連携センターを目指し、日々推進してまいります。

地域連携課には直通電話を設置してございますので、受診予約の問い合わせなどの際には、ぜひご利用ください。

地域連携センター長 八田義弘



2026.9

No.120

地域連携センターニュース



公立阿伎留医療センターは、医の心に重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

ラウンジピアノ始まる

入院患者さん、外来患者さんにやすらぎと癒しの時間を提供し、院内の環境向上を図るため、不定期ではありますが、年間を通じて、1階エントランスホールにて「院内ミニコンサート」を開催しております。



患者さんご紹介方法

1 FAXを送る

紹介状を地域医療連携課まで FAX ください。

- 紹介状は貴院の書式で問題ございません。
- 予約希望日は患者さんとの調整も可能です。

2 当院から予約日をご案内

ご希望する診療科の予約が取れましたら、貴院へ予約票を FAX にて送信いたします。

3 お電話での調整も可能

お気軽にご相談ください。

地域連携課

TEL 042-558-0601(直通)

FAX 042-550-5190

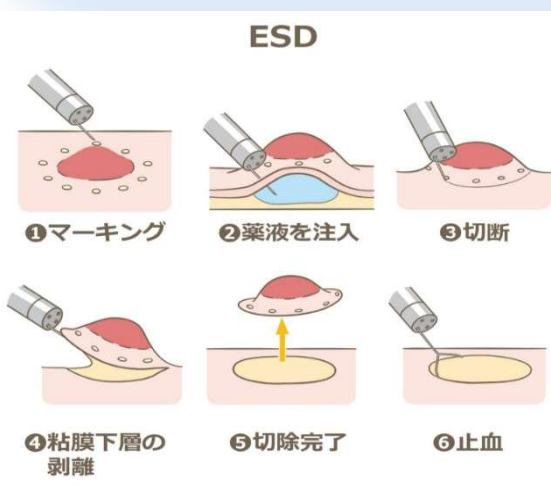
受付 平日：8:30～17:15

※FAX は 24 時間送付可能ですが
受付時間外の予約票の送信は、
翌日または休み明けの対応になります

秋川流域でも内視鏡治療(ESD)を行う患者さんが増加しています

当院では、がん検診や一般内視鏡検査で発見された食道・胃・大腸の早期がんに対する内視鏡治療(ESD)を積極的にこなっております。

対象となる患者さんはリンパ節転移の可能性のほとんどない早期がんの患者さんです。それぞれの臓器ごとにリンパ節転移のほとんどない早期がんの条件はガイドラインで細かく決められています(内視鏡切除の適応病変といいます)が、消化管壁の一番上の層(粘膜層)や2番目の層(粘膜下層)の上方にとどまるがんの多くが、ESDの適応(対象)となります。



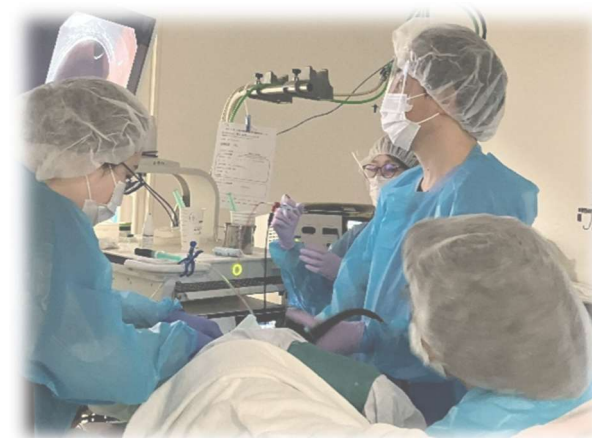
ESDの利点は、大型の病変、潰瘍を伴う病変、切除が難しい部位にある病変なども切除ができることです。

治療では粘膜下層に生理食塩水の局注をいれ、電気で剥離をしていき、腫瘍を一括で切除します。すべて内視鏡でおこなわれますので非常に侵襲が少なく、患者さんの体への負担は大変軽くなります。

術後の痛みも傷がないためほとんどなく、早期の離床も可能で入院期間が短いため、ご高齢の患者さんでも安心して治療を受けていただけるのが大きなメリットと考えています。



症 例	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
食道 ESD	5	17	14
胃 ESD	33	34	36
大腸 ESD	27	55	82
合 計	65	106	132



当院の ESD は十分な訓練と経験を持った医師が治療を行っています。

最近では術中の安定した麻酔が難しい症例や、病変の難易度が高く偶発症リスクの高い病変などに対しては消化器外科と連携して、全身麻酔をかけて手術室で ESD を行うこともあり、安定した術野での治療を心掛けています。

9月よりあきる野市でも胃がん内視鏡検診が始まります

あきる野市でも今年の胃がん検診から、胃透視造影検査(バリウム検査)と胃内視鏡検査を患者さんが選択できるようになりました(すでに申し込みは終了しています)。

胃内視鏡検査は従来のバリウム検査と比較し、カメラで直接患部を観察できるため、わずかな粘膜の色の違いや平坦な病変も発見しやすく、早期の胃がんや食道がんを見逃しにくく、バリウムでは平坦・微細な病変はほとんど映りませんが、内視鏡なら色調や模様の変化で察知できると専門学会も認めています。

あきる野市では、内視鏡によるがん検診が可能な施設は

- ・ 公立阿伎留医療センター
- ・ あきる台病院
- ・ 草花クリニック
- ・ 朱膳寺内科クリニック の4施設です。

当院で内視鏡によるがん検診を受けられた患者さんの画像の確認等は地域連携課にお問い合わせください。

